

令和5年度

学校評価報告書



綾瀬市立寺尾小学校

グラフ凡例

そう思う

ややそう思う

あまり思わない

そう思わない

わからない

1 学校は、「進んで学ぶ子」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、「自分の考えをもつこと」「友達との学び合いを大切にすること」を学習指導の重点とし、「言葉を使って、自分の気持ちや考えを伝え、理解し合う力」「多面的に物事を見、根拠をもって判断する力」「自分に合った目標を持ち、それに向けて努力することができる力」の育成を図っています。校内研究では、課題に主体的に向き合う児童を育成するよう、研究を進めています。また、読書活動や学習支援者等の活用を図りながら、指導の工夫・改善に努めることで、児童一人ひとりの学力向上につなげようとしています。

児童 設問 あなたは進んで学習に取り組んでいますか。

実施日：令05/12/12 回答数：276人 実施日、回答数以下同じ



保護者 設問 お子さんは、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。

実施日：令05/12/19 回答数：166人 実施日、回答数以下同じ



教職員 設問 「進んで学ぶ子」を育てるための取り組みを、学年や学級経営の中で工夫して行っている。

実施日：令05/12/12 回答数：22人 実施日、回答数以下同じ



今後に向けて

児童、保護者ともに肯定的な回答がおよそ8割以上を占め、児童が進んで学習に取り組む姿勢が少しずつ定着していることがうかがえます。また、すべての教職員が肯定的な回答をしています。校内研究や研修を通して、児童が主体的に学習に取り組むことへの理解が深まり、それが授業改善や学級・学年経営につながってきています。私たちはこの意識を保ちつつ、児童の生きる力の育成に努めます。

2 児童は、学校行事や特別活動に積極的に参加している。

学校の取組

本校では、学校行事や児童会活動を通して魅力ある教育活動の推進に向けて特別活動のさらなる充実に力を入れています。また、特別活動を通じて児童の主体性・社会性・協調性などを育てています。そのためにそれぞれの意義やめあてを明らかにし、グランドデザインで掲げている育てたい資質・能力を身に付けられるよう取り組んでいます。

児童 設問 あなたは、運動会やにこにこタイムなどの学校行事に進んで参加していますか。



保護者 設問 お子さんは、運動会などの学校行事に進んで参加していますか。



今後に向けて

9割以上の児童、保護者が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。このことにより、児童自らがめあてをもち、学校行事に意欲的に取り組んでいる様子が分かります。また、それぞれの行事を通し「何を学んだのか」という振り返りの時間を大切に、行事を通して身に付いたことは何かを明確にしていけるようにしていきます。

3 学校は、「すなおで思いやりのある子」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

本校では、思いやりのある児童を育てるために、学年会議や職員会議だけでなく日常的に児童の情報を共有しながら、児童一人ひとりの理解に努めています。また、児童が互いに認め合い、協力し合える学級づくりをめざし、全校児童に呼びかけるとともに、教職員が児童の良さを認め、温かい言葉かけをするように努めています。

児童 設問 あなたは、あいさつや返事をしていますか。



保護者 設問 お子さんは、あいさつや返事をしていますか。



教職員 設問 学校は、「自分や友達の良さや違いを認め合える子」を育てる指導を積極的に行っている。



今後に向けて

毎年行われている児童会主催の「あいさつ運動」は、児童が中心となって「あいさつの大切さ」について考える良い機会となっています。今後も、相手のことを考えたあいさつや返事の大切さを引き続き指導するとともに、児童があいさつすることの良さに気付けるよう、児童に積極的に働きかけていきます。同時に、教職員の意識もより高めていきます。

4 児童は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、児童の学校内での生活や友人関係について注意深く見守り、児童理解に努めています。学級活動を中心に、クラスの状況や児童一人ひとりの理解を深め、児童指導や学級経営を行っています。また、「にこにこタイム」という縦割りグループで楽しく遊ぶ活動を通して、他者への理解を深めたり互いに助け合ったりする機会をつくり、学校生活の充実を図っています。

児童 設問 あなたは、学校が楽しいですか。



今後に向けて

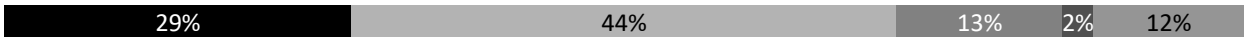
およそ9割の児童が「楽しい」と回答しており、友人や先生との学校生活に満足していると思われます。しかし、「楽しくない」と回答した児童も1割弱おり、不安や悩みを抱えていることが推測されます。今後も、一人ひとりの児童を大切にしながら支援体制をさらに充実させ、すべての児童が満足して過ごすことのできる学校を目指していきます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

学校の取組

本校では、全校児童の一人ひとりに全職員が関わり、児童の様々な問題・課題に対処・対応できるように日常的な観察を心がけ、小さな変化も見逃さずに声をかけるようにしています。毎月実施しているスクールアンケートは、学級担任だけでなく学年、児童指導担当、教育相談コーディネーター、養護教諭、管理職も情報を共有し、いじめの早期発見に努めています。また、毎月の職員会議の際に児童の状況や対応の方針を共有したり、望ましい生活習慣や行動規範について共通理解を図ったりしています。さらに、いじめの訴えがあった場合は直ちに教育相談等を行い、未然防止や早期解決に向けての方策を策定し、組織的に対処・対応する校内支援体制を確立しています。教職員は道徳や学級活動の授業を通して、児童たち自身の「いじめをしない・ゆるさない」という気持ちを育むようにしています。

保護者 設問 学校は、児童指導や道徳の時間、スクールアンケートなどを通して、いじめの早期発見・再発防止に努めていますか。



教職員 設問 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。



今後に向けて

7割を超える保護者が肯定的な回答をしていますが、否定的な回答、「わからない」という回答が3割弱ありました。引き続きスクールアンケートや道徳教育等を通じたいじめへの予防的取組、いじめの予防や発生時の対応に教職員が一つになって取り組んでいくとともに、今後も学校だより等で学校の取り組みについてお知らせしていきます。

6 学校は、「たくましくねばり強い子」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

本校では「たくましくねばり強い子」を学校教育目標に掲げ、心身ともに健康な児童の育成に努めています。身体については、各種健康診断や保健指導によって健康を管理し、養護教諭の毎月発行する「保健だより」や担任による毎朝の健康観察などによって、健康に関する情報を提供したり啓発に努めたりしています。また、今年度の学校保健委員会では、「アンダーマネジメント」をテーマに実施しました。児童や地域に合ったテーマを選定しています。

児童 設問 あなたは、健康に気をつけていますか。



保護者 設問 お子さんは、最後まであきらめずに頑張っていますか。



教職員 設問 学校は、「たくましくねばり強い子」を育てる指導を積極的に行っている。



今後に向けて

肯定的な回答が多く見られました。今後も、児童自身が自分の心や身体の状態について関心を持ち、健康的な生活が送れるよう、保護者と連携し、指導と支援に努めていきます。これからも、おたよりや学校保健委員会を通して、情報発信を続けていきたいと思ひます。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、年3回の避難訓練を始めとした各種の訓練・指導により、「自分の命は自分で守る」ことを基本とした安全教育・指導を行っています。また、PTA校外指導委員会や寺尾南パトロール隊等の保護者・地域と連携して登下校や通学路の安全を確保できるようにしています。校内の施設・設備については毎月定期的に点検し、不備があればすぐに対処しています。

教職員 設問 学校は、児童の安全のための指導に取り組んでいる。

85%

15%

教職員 設問 学校は、児童の安全のための施設点検・整備に取り組んでいる。

79%

21%

今後に向けて

教職員は高い意識を持って取り組んでいることがうかがえます。日時を知らせずに実施する避難訓練や、交通安全教室などの「命を守る」学習に力を入れて指導をしてきました。また、月に1回、校舎内外に危険箇所はないかを全職員で点検しています。これからも児童への安全指導の充実と環境整備に、しっかりと取り組んでいきます。

8 学校は、児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では、教職員が児童一人ひとりに目を向け気を配ることで、児童の気持ちの状態や学習に対する困り感などを把握し、それに応じた指導を心掛けています。児童指導・支援グループを中心に、教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学習支援者との連携を図り、情報を共有したりケース会議を開いたりするなどして、全職員で支援の方法や手立てを考えています。

教職員 設問 学校は、個々の児童に応じた支援の工夫をしている。

55%

45%

今後に向けて

個々の児童に応じた支援の工夫をすることについて、教職員の意識が高まっていることがわかります。これからも、児童指導・支援グループを中心に職員で情報を共有し、必要に応じて様々な方と連携を図りながら、児童の実態や課題を把握して個に応じた支援体制の充実に努めていきます。

9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、校長の学校経営方針を受けて、所掌内容ごとに設けた4グループで総括教諭を中心に教育活動を企画・運営しています。グループの企画は校長、教頭、総括教諭から成る企画会議で検討し、必要に応じてグループで修正した後、職員会議にかけられ決定・周知されます。校長の意思を職員へ伝える縦の流れと、各グループ間の横の連携を図りながら、よりよい学校運営を心がけています。

教職員 設問 学校は、校長を中心としてグランドデザインに則った運営組織となっている。



今後に向けて

児童の実態や課題を教職員で共有し、学校教育目標の具現化を図っています。今後も、チームとしての一体感とそれを支える教職員一人ひとりが責任と自覚をもち、児童のために一つのチームとして課題に取り組んでいきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

本校では、「主体的に向き合い、高め合う子」をテーマに全教職員で校内研究に取り組み、授業改善に努めています。また、日頃から互いの授業を参観したり、外部講師による研修会を開いたりするなどして、職員が自己研修・研鑽に努めるようにしています。

教職員 設問 学校は、校内研究の取組に力を入れている。



教職員 設問 学校は、職務に必要な知識や技能を身につけようとしている。



今後に向けて

学習指導要領の内容や寺尾小学校の児童の実態をしっかりと把握し、それらに基づく指導の在り方についても研究を通して研修してきました。今年度も、横浜国立大学池田敏和教授をお招きし、算数科の指導力向上を中心に児童が学び合うことについて理解を深めました。算数科はもちろん、他教科にも学んだことを生かして授業改善ができるよう、今後も学習指導の充実を図る研修を計画的に実施していきます。

11 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。

学校の取組

本校では、児童の様子に目を向けて全教職員が児童一人ひとりを見守り、状況把握に努めています。月に1回のスクールアンケートを丁寧に見取り、児童の思いを大切にしながら指導に生かしています。また、よりよい児童の成長のために、日々の学習や生活、行事に向けての取り組みを大切にしています。職員会議で、児童の様子や状況、学校での対応についての情報を共有し、保護者と連携しながらチームとして児童の指導に取り組んでいます。

保護者 設問 学校は、一人ひとりの子どもを大切にした教育を進めていますか。

31% 38% 16% 3% 12%

教職員 設問 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のために工夫をしている。

65% 30% 5%

今後に向けて

設問8に対する対応と同様、教職員が一つになり、学校生活の中で一人ひとりを大切にした指導に努めていきます。また学校や教職員の指導をご理解していただけるように、取組を発信するよう引き続き心がけていきます。

12 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、学校・学年だより等を通して、学校の教育方針や教育活動、児童の活動の様子等を保護者や地域の方々に伝えています。また、読み聞かせボランティアやフラワーボランティアをはじめ、生活科や総合的な学習の時間などの学習では地域の方々にも協力していただきながら地域がパートナーとして地域全体で育てる教育を行っています。学校運営協議会では、昨年度いただいた委員の方々のご意見をもとに「植え替えボランティア」や「図工展の見守りボランティア」などのできることから取組を始めました。

保護者 設問 授業参観や懇談会、学校だよりや学年だよりなどで、お子さんの学校での学習や活動の様子について知ることができましたか。

47% 38% 10% 3% 2%

教職員 設問 学校は、保護者などに適切な情報を提供し連携を図る取組をしている。

35% 65%

今後に向けて

9割近くの保護者が「そう思う・ややそう思う」と回答していますが、昨年度よりわずかに少なくなっているという結果になっています。来年度にむけて学校だよりや学年だより等の各種おたより、家庭訪問や個別面談を通じて学校の様子を知っていただけるよう努めていきます。また、昨年引き続き「分からない」と回答している家庭もあり言葉の問題や家庭の事情に十分に対応できていないこと等も一因として考えられます。多様性社会となった時代に対応できるようによりこれからも多くの対応策で取り組んでいきます。